

No.511

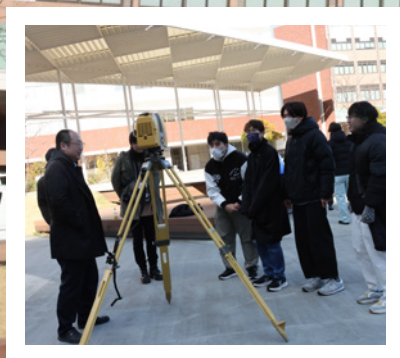
学園報

九州産業大学 九州産業大学造形短期大学部
2026.1.31



CONTENTS

人事企画課の取り組みについて.....	01
性の多様性(LGBTQ+)に関する基本的な考え方を制定...	03
サークル活動状況.....	05
KYUSAN NEWS・雑報.....	06



1月22日(木) 建築都市工学部都市デザイン工学科 3次元測量体験(E-SYSTEM協力)

人事企画課の取り組み

「中途採用者フォロー交流ランチ会」を開催

～働きやすい職場づくりの第一歩～

人事企画課とは

2025年8月人事部は、「人材開発課」を「人事企画課」へ改組しました。従来の研修機能に加え、①キャリア形成支援、②人事評価制度、③働きやすい職場づくり、④給与・福利厚生、⑤人員計画・採用などの人事労務に関わる企画機能が新たに加わり、現在それらの取り組みを進めています。教職員の皆さんがさらに安心して前向きに働ける環境を整えるため、人事課と連携しながらより良い人事運営に向けた取り組みを積み重ねています。

「中途採用者フォロー交流ランチ会」を開催

「働きやすい職場づくり」の一環として、新しく仲間に加わった職員の方々が、業務に早く馴染み、安心して力を発揮できるよう、「中途採用者フォロー交流ランチ会」を開催しました。



クラブハウス スペシャルメニューを囲んで交流

開催概要・目的

○開催概要

- ・対象者：10名（8月転換2名、9月採用8名）
- ・実施期間：2025年10月～12月の昼休み（全4回）
- ・協力部所：総務部／総合企画部／教務部／学生部／入試部
語学教育研究センター／キャリア支援センター／施設部
- ・ご協力いただいた施設：クラブハウス

○目的

「働きやすい職場づくり」の取り組みとして、本年度の中途採用者を対象に、学内の仕組みやルールに戸惑うことなく、これまでの経験を生かした業務に取り組めるよう、以下の3点を柱としたカジュアルな交流ができる場を企画しました。

1. 職場に安心して定着できるよう支援すること
2. 業務内容や学園の仕組みへの理解を深めること
3. 部所や職員同士のネットワークを広げること

当日の内容および様子

○当日の内容

教育・研究部門、法人部門の各部所が協力し、

- ・各部所の役割
- ・日々の業務内容
- ・教員および学生との関わり

について紹介しました。

学園を支える仕事の全体像や部所どうしのつながりを知る機会となり、新たな交流が生まれる場となりました。

○当日の様子

初回は少し緊張した雰囲気もありましたが、回を重ねるごとに

- ・笑顔が増え・会話が自然に広がり
- 和やかな雰囲気へと変化していきました。

協力部所によるPowerPointを使った業務説明に加え、ミニゲームによる交流も企画し、参加者どうしの距離が縮まるきっかけとなりました。

「学生対応ではこんな形で関わっています」「先生方とはこうした場面で連携しています」など、学内の役割が見える話題も多く、立場を越えたつながりを感じられる時間となりました。

会場のクラブハウスでは、イベントに合わせたスペシャルメニューを用意いただき、雰囲気もぐっと和やかに。ご協力いただいた関係者の皆さま、本当にありがとうございました。



部所紹介の様子



ミニゲームの様子

ランチ会参加者から寄せられた声

交流ランチ会終了後に行ったアンケートでは、次のような声が寄せられました。

- 各部所の業務や注力している点の理解が進んだ
「学園全体の流れが分かり、安心して業務に取り組めるようになった」
- 新しい職場環境への不安軽減につながった
「入職後に感じていた不安が大きく軽減された」
- 対面によるコミュニケーションで人脈づくりの機会となった
「他の部所とのつながりができ、楽しく過ごせる時間になった」

参加したみなさん自身にとって、変化をプラスに感じられる場となったようです。

今回の取り組みが、より働きやすい職場づくりにつながる一歩となることを期待しています。



参加者アンケートから見たこと

今回のランチ会は、「働きやすい職場づくり」を進める取り組みの一環としてスタートしました。

参加者アンケートでは、今後に向けた職場環境に関する具体的なリクエストや前向きなコメントを多くいただきました。

〈寄せられたご意見の例〉

- ・メンター制度の導入および充実
- ・部門横断型の交流の拡充

いただいたご意見も踏まえ、人事企画課として各業務をブラッシュアップし、より良い取り組みへと発展させていきます。



人事企画課の今後の取り組み～教職員の皆さまへ～

学園は、**教員 × 職員 × 学生**が互いに補い合い、支え合うことで成り立っています。

人事企画課では、そのつながりを大切にしながら、学生が安心して学べる環境づくりと、新しく働き始めた方も含め、日々活躍されてる教職員の皆さまが、より力を発揮できる職場づくりを、皆さまとともに進めていきます。

これからも、人がいきいきとつながり、学園全体がより良くなるよう、取り組みを続けてまいりますので、ご協力よろしくお祈いします。



～人事部がつなぐ、人と人～

「性の多様性(LGBTQ+)に関する基本的な考え方を制定しました！」

本学園はダイバーシティ推進基本方針のもと、多様性を尊重する大学の実現を目指しています。とりわけ『性の多様性』は誤解や偏見の対象となりやすく、明確な姿勢と取り組みが求められています。多様な性のあり方を認め合う大学・組織づくりを進めるため、『性の多様性に関する基本的な考え方』を策定し、誰もが安心して自分らしく過ごすことができる環境づくりを推進します。

性の多様性に関する基本的な考え方

1. 差別やハラスメントの禁止

性自認や性的指向などを理由とした、いかなる差別やハラスメントも許容しません。

2. 教育・啓発活動の推進

学生、教職員および関係者の理解を深めるための教育・啓発活動を積極的に行います。

3. 多様な性のあり方への理解と自己決定の尊重

性自認や性的指向を含む、多様な性のあり方について理解を深め、すべての人の自己決定を尊重します。

4. 個人情報の適切な管理

性のあり方に関する個人情報については、本人の意思を尊重しつつ、適切に管理・運用します。

性の多様性に関する理解促進のため学生の呼称について「さん」付けで統一しましょう

ダイバーシティ推進基本方針

1. 男女共同参画社会を担う学生を育成します。

- (1) ダイバーシティに関する教育の拡充
- (2) 男女共同参画の視点に立ったキャリア教育の構築

2. 多様な学生を支援します。

- (1) 多様な学生に対応した施設の整備
- (2) 多様な学生に対応した相談・支援体制の構築
- (3) インクルーシブ教育の実現に向けた支援体制の構築

3. 多様な教職員の参画機会を拡大します。

- (1) ライフイベント(育児・介護等)に対応した支援の充実
- (2) 教職員のダイバーシティに関する意識の醸成
- (3) 多様な人材の採用・登用・育成



性の多様性に関する取り組み

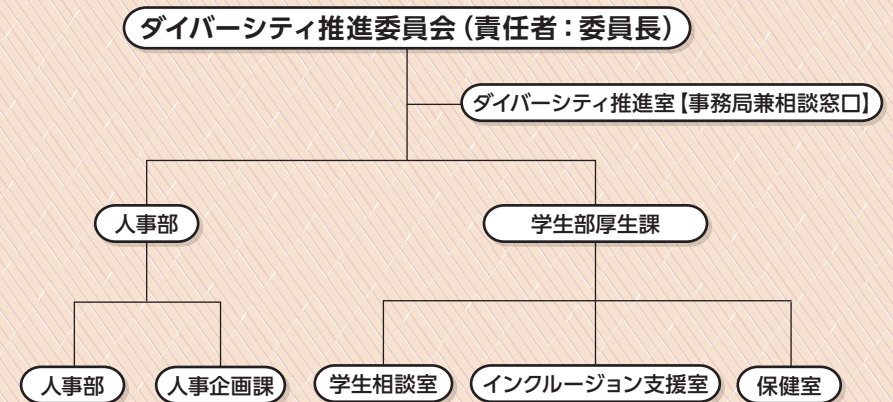
2024年1月に、「LGBTQ」の知識および自分と他者との関係性を考える参加型イベント「世界一何でも聞いていいジェンダリストと学ぶLGBTQ勉強会」を開催しました。今後も引き続き勉強会や研修会を開催し、性の多様性に関する理解促進を図ります。



【性の多様性に関する基礎知識】

	L(Lesbian/レズビアン) 性自認は女性で、女性に恋愛感情や性的な関心を抱くこと。	性的指向
	G(Gay/ゲイ) 性自認は男性で、男性に恋愛感情や性的な関心を抱くこと。	
	B(Bisexual/バイセクシュアル) 男性と女性の両方に恋愛感情や性的な関心を抱くこと。	
	T(Transgender/トランスジェンダー) 生まれたときに割り当てられた性別と、自身の性自認が一致しない人。	性自認
	Q(Queer/Questioning) 既存の性の枠にとらわれず、自分の性のあり方を考え模索している人。	多様な性・あり方
	+(プラス) LGBTQ以外の多様な性やあり方を含むことを示す。	

【推進体制図・相談窓口】



	窓口	連絡先	対応時間
学内	ダイバーシティ推進室	✉ksu_lgbtq@ml.kyusan-u.ac.jp ☎092-609-9455 https://forms.office.com/r/UvgxDcYj3x	平日 9:00-17:30
学外	ふくおかレインボーホットライン	☎090-7493-3487	第1・3火曜 17:00-21:00
	弁護士による電話相談	☎070-7655-1698	第2木曜・第4土曜 12:00-16:00
	フレンズライン*	☎080-9062-2416	日曜 17:00-21:00

*24歳以下のセクシャルマイノリティの子ども若もの、そのまわりの人向け

本学には、学友会執行部(5)、体育系サークル(38)、学術文化系サークル(22)、任意団体(52)の計117団体があり、現在、在学生約1万人のうち、約67%の学生が加入しています。※2025年12月現在

サークル名	開催時期	大会名等	結果
硬式野球部	6月	全日本大学野球選手権大会	1回戦敗退
サッカー部	9月	総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント	ベスト16
	11月	全日本大学サッカー新人戦	準優勝
	12月	全日本大学サッカー選手権大会	ベスト16
空手道部	6月	西日本大学空手道選手権大会	【男子】 団体組手 2回戦敗退 【女子】 団体組手 1回戦敗退 【男子】 個人形 入賞者なし 【女子】 個人形 小金丸和心 4位
	7月	全日本学生空手道選手権大会	【男子】 個人形 堺恒貴 ベスト16 【女子】 個人形 入賞者なし 【男子】 個人組手 鈴木麗斗 ベスト16 【女子】 個人組手 入賞者なし
	11月	全日本学生空手道選手権大会	【男子】 団体形 入賞者なし 【男子】 団体組手 ベスト16 【女子】 団体組手 入賞なし
準硬式野球部	8月	全日本大学準硬式野球選手権大会	1回戦敗退
ハンドボール部(女子)	8月	西日本学生ハンドボール選手権大会	予選敗退
	11月	全日本学生ハンドボール選手権大会	1回戦敗退
バスケットボール部(女子)	6月	西日本学生バスケットボール選手権大会	2回戦敗退
水泳部(フィンスイミング)	5月	フィンスイミング日本選手権大会	【女子】 400mサーフィス 若尾日菜子 3位 【男子】 400mCMAS 水上智陽 3位 800mサーフィス 石原暖太 優勝
	9月	フィンスイミングワールドカップ	【女子】 4x100mサーフィスリレー 若尾日菜子 優勝 200mサーフィス 若尾日菜子 4位 400mサーフィス 若尾日菜子 4位 【男子】 400mCMAS 水上智陽 5位
山岳部(スポーツクライミング)	11月	日本学生対校選手権	入賞なし
軟式野球同好会	11月	西日本学生軟式野球選抜大会	1回戦敗退
ソフトボール部	7月	西日本大学男子ソフトボール選手権大会	1回戦敗退
	9月	全日本大学男子ソフトボール選手権大会	ベスト16
ハンドボール部(男子)	8月	西日本学生ハンドボール選手権大会	予選敗退
バレーボール部(女子)	6月	西日本バレーボール大学女子選手権大会	決勝トーナメント1回戦敗退
バレーボール部(男子)	6月	西日本バレーボール大学男子選手権大会	決勝トーナメント1回戦敗退
	12月	全日本バレーボール大学選手権大会	1回戦敗退
バスケットボール部(男子)	6月	西日本学生バスケットボール選手権大会	ベスト16
ラグビー部(女子)	6月	Women's College Sevens 2025 大学女子7人制ラグビーフットボール大会	7位
ソフトテニス部	7月	西日本学生ソフトテニス選手権大会	【男子】 大学対抗団体戦 2回戦敗退 【女子】 大学対抗団体戦 1回戦敗退
卓球部	12月	オール西日本大学卓球選手権大会	予選リーグ敗退
アーチェリー部	6月	全日本学生アーチェリー女子王座決定戦	個人 予選敗退 団体 予選敗退
弓道部	8月	全日本学生弓道選手権大会	【男子】 決勝トーナメント1回戦敗退 【女子】 予選敗退
中国武術部	7月	全日本武術太極拳選手権大会	対練 前田海好・須原亮海 優勝 足達心大・川尻拓弥 6位
剣道部	5月	西日本学生剣道大会	【男子】 2回戦敗退 【女子】 ベスト8
	7月	全日本女子学生剣道選手権大会	2回戦敗退
	11月	全日本学生剣道優勝大会	【男子】 1回戦敗退
ライフセービング同好会	9月	全日本学生ライフセービング選手権大会	初戦敗退
陸上競技部	9月	西日本学生陸上競技対校選手権大会	110mH予選敗退
自動車部	11月	2025 Formula Gymkhana	17位
吹奏楽部	2月	SJ&Pコンテスト全国大会	2月出場予定

○ 2025年度の学連主催の主要大会は終了しました。各サークル、来季に向けて新体制で活動をスタートしています。
○ 来季、学生らのさらなる活躍を期待しておりますので、皆様方の応援をよろしくお願いいたします。サークルの活動状況は、大学HPの「サークルの大会・公演日程」で紹介していますので、是非ご覧ください。
○ ホームイベント▶ 2025年度サークルの大会・公演日程



教員交流会を通じた建築都市工学部における土台づくり ～継続的な対話と学部の新たな魅力創出に向けて～

建築都市工学部(建築学科、住居・インテリア学科、都市デザイン工学科)では、学部全体の活動を支える土台づくりの一環として、1クォーター毎に若手教員交流会を開催しています。

本交流会は、同学部の若手教員を中心に、分野や専門の異なる教員が互いの取り組みを知り、教育・研究活動における相互理解を深めることを目的にしています。

1月8日(木)の交流会は、ランチタイムを利用し開催。学部長を含む教員11名が参加し、和やかな雰囲気の中で意見交換が行われました。輪番制で行われる自己紹介では、2名の教員が本学就任までの経歴や近況、取り組みを紹介した後、担当授業での工夫や研究の進捗、学生指導に関する話題などについて意見が交わされました。

また、学部間を横断し交流しながら学べるカリキュラムや共同プロジェクトなど、学部の新たな魅力を創り出すことや効率良く働きやすい職場環境を進めるための情報共有の在り方についても意見が交わされました。

建築都市工学部では、今後も同会を継続的に開催し、活動の土台づくりを着実に進めながら、教員間のネットワーク形成を推進し、教育・研究活動の充実や学部の魅力向上に取り組んでいきます。



不審者対応に備えた「さすまた」取り扱い訓練を実施しました

12月24日(水)、東警察署から講師を招き「さすまた取り扱い訓練(不審者対応訓練)」を実施しました。

本訓練は、防犯体制の強化と職員の危機管理意識向上を目的としたもので、事務職員および学生約80名が参加しました。

当日は、学内に不審者が侵入した際の初動対応を再確認し、防犯器具「さすまた」の効果的な使用方法について、実際に体験しながら説明を受けました。

講師から「さすまた」は、相手との間合いを取り、警察官到着までの時間を確保するための道具で、複数人で対応することが望ましいことが強調されました。また、使用時には相手に「さすまた」を掴まれないよう距離を保つこと、不審者が刃物を所持していることを確認した場合は「刃物!」と大きな声で叫ぶことが重要であると説明がありました。

本学では、今後も防犯・危機管理意識の向上に向けた取り組みを継続してまいります。



12月のキャンパス電気使用量 1,188,043Wh(前年同月比0.1%増)	12月のキャンパスの燃えるゴミの量 10,270kg(前年同月比9.3%増)	いよいよ受験シーズンですね。 体調には気をつけましょう!
--	--	---------------------------------





かしい線 de DENCHA 旅

#九州旅客鉄道株式会社 (JR九州) #理工学部 #芸術学部

#理芸融合 #実践クロス演習 (スマートフォンアプリ開発)

#デジタル駅スタンプ収集アプリ #12月23日 (火) リリース